

1月たべざかり

足立区立関原小学校

明けましておめでとうございます。お正月には、おせち料理やお雑煮などを食べましたか？冬休み中も規則正しい生活はできましたか？明日から、給食が始まります。今の学年での生活も残り3ヶ月となりました。進級に向けて、目標をもって給食の時間を過ごしましょう。また、1月24日から学校給食週間が始まります。学校給食は1889年から始まり、100年以上の長い歴史があります。給食の時間がなぜ必要なのか、ぜひこの機会に考えてみましょう。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間

1月24日から30日までは全国学校給食週間です。学校給食の意義や役割についての理解と関心を深め、学校給食のより一層充実と発展を図ることを目的に行われています。日本の学校給食の始まりは、山形県の忠愛小学校で出されたおにぎり、鮭の塩焼き、菜の漬物です。給食では、24日の学校給食記念日にはなんと鮭の塩焼きを提供します。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
に知りたい

あげパンのはなし

①



お父さんやお母さんに「子どもの頃、好きだった給食なあに？」と聞くと、真っ先に挙がるのが「あげパン」です。このあげパン、どのようにして誕生したか知っていますか？

②



あげパンが生まれたのは、戦争が終わり、給食が再び始まって間もない東京都大田区。当時の子どもたちはいつもおなかをすかせていました。給食はそんな子どもたちにとって一番の楽しみでした。

③



ある日、かぜで学校を休んだ子がいました。調理員さんは「せっかく楽しみにしていたのに…」と、残ったパンを揚げて砂糖をまぶし、包んでその子の家に届けてもらったそうです。

④

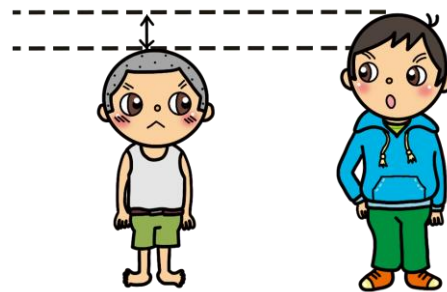


おいしいあげパンはあっという間に日本中に広まりました。あげパンが生まれた陰には、子どもたちのことをいつも大切に考えながら給食の仕事に携わる人たちの温かい気持ちがあったのです。

① 昭和20(1945)年、戦争が終わったばかりの日本では食料が不足し、栄養不足の子どもたちがたくさんいました。給食も戦争で中断されたままでした。



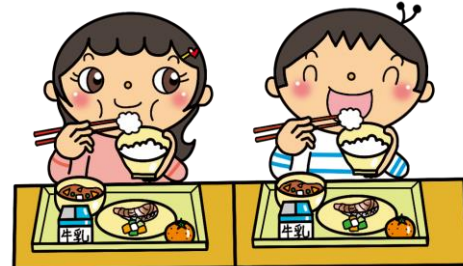
② そのころの小学6年生の体は、今の小学4年生くらいのおおきさだったといいます。



③ この日本の様子を見て、外国から食べ物の援助がたくさん送られてきました。こうして昭和21(1946)年12月24日、学校給食がふたたび始まりました。



④ 12月24日は学校が冬休みなので、1ヵ月遅らせた1月24日から「全国学校給食週間」が行われます。給食に感謝し、その意義と役割を再確認する1週間です。



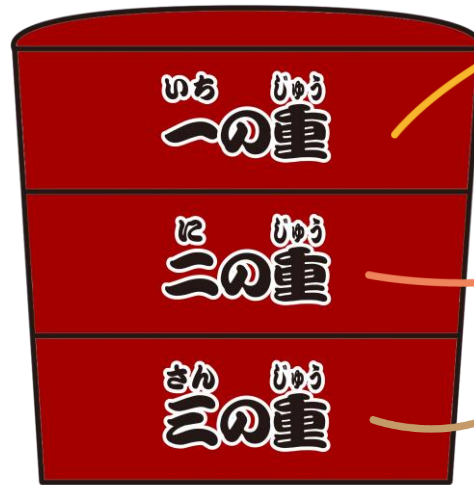
こんげつ きゅうしょく むくひょう 今月の給食目標

•和やかに食事をしよう



おせちマンション だれがどこに住んでいる？

おせち料理には込められた願いがあります。



数の子(子孫繁栄)、黒豆(健康)、田作り(豊作)、たたきごぼう(吉兆)、昆布巻き(よろこぶ)、伊達巻き(教養)、くりきんとん(金運)、かまぼこ(祝い)

酢の物、焼き物
紅白なます(平和)、えび(長寿)、たい(めでたい)、ぶり(出世)

煮物
さといも・八つ頭(子宝)、れんこん(明るい見通し)、くわい(芽が出る)

おせちの重箱の詰め方には地域や家庭でさまざまです。段も5段、または4段が正式ともいわれますが、ここでは現在一般的な3段のおせちについて典型例を示しました。



1月20日~24日は足立区もりもり給食ウィークです。足立区では、野菜を食べる習慣を身に付けるために「ひと口目は野菜から」の取り組みを推進しています。関原小でも給食の時間に放送やランチ通信で「ひと口目は野菜から」を日々お知らせしています。この1週間は小松菜の他にも足立区で作られた野菜を使用します。野菜は、冬においしい白菜、大根、ブロッコリー、キャベツです。野菜を食べることでだけでなく、生産者さんへの感謝のきもちや産地消費の良さなども学んでほしいと思います。